

記

一 發生ノ場所 京橋正銀座三丁目一番地

二 事業主側

株式会社伊東屋

社長 長伊東 勝太郎

山十四町内 全額拂込

文具小費 茶

ナレ

三 店員側

本店男六十六名 女七十六名 計百四十二名  
丸ビル出張所 男七名 女六名 計十三名

合計百五十五名

三 店員側

労働組合加入者

男六十七名 計百四十六名  
女七十九名  
男一名 (日本一報印刷人組合)

此後労働組合 日本一報印刷人組合(全協系)

四 争議發生ノ時 昭和五年十月七日

五 發生ノ原因

事業主ハ不況対応策トシテ察月廿五日(昨日)ノ二回ニ極秘裡ニ倉庫内勝村 某 販賣係波云 某中村ノ久相 某桑垣某ノ立名ヲ解雇シタルニ一報従業員ハ令人等ヲ欠勤ト思惟シ不潔ニ抱キ居リタル心 本月二日解雇事實判明シタルニ因ル

六 要求事項並交渉状況

全従業員ハ七日午前七時三十分(一時同早出)店內地下室ニ集合職場大倉ヲ閉シ労働事項シ決定代表者ニ藤藤三致郎松林 茂之輔外立名ヲ選出シ  
代表者等ハ即時又配人三川定吉ト会見別紙要領書ヲ提出回答シ求メタルニ又配人ハ本日午後四時政メテ回答ヲ為スヘシト告ケタルニ一向之ヲ諒トシ直チニ就業セリ